



シャトル北大阪通信

シャトル京都中央店 始動!



2015年4月1日ダスキンシャトル京都中央店の代行レンタルが始まりました。拠点は**京都市西京区桂上野西町260**（ダスキン松尾支店の跡地）、京都市の西側、嵐山の南側になります。

ダスキン祇園、ダスキンフクエ、ダスキン精華支店、ダスキン長法寺支店の4店さま**約850万**（4週基礎売上）をお預かりしてのスタートです。

シャトル大阪中央店が委託72店/約8,000万、シャトル神戸中央店が委託29店/約3,500万ですからヨチヨチ歩き出したばかりです。



受託地域は当初は京都市右京区、左京区、西京区、上京区、下京区、南区、東山区、伏見区、山科区、向日市、長岡京市、亀岡市（一部）ですが、準備が整いしだい拡大していく予定です。

ルート設定は月曜日が空き日で、
A C 週 火・水・木・金・土
B D 週 火・水・木・金

空き日は通常は勉強会、祝日、連休時には倒しレンタルに使用します。

立ち上げメンバーはシャトル神戸で経験を積んだ、坂田慎治店長、眞田隆司チーフ、高木勲、山内将寛、畑岡錦希、西海千恵業務担当の6名にシャトル大阪

から横田マネジャー、山崎チーフが随時応援に入り、京都採用の清瀧麻友、清水恵美、小林陽、川直希の研修も既に始まっています（上の写真は政策勉強会時に誠心館で撮影）。



第2弾の受託は夏ごろを目処に予定していますが、シャトル京都は店舗業務システムコンピューターで運営しているため、新規受託は【情報連携システム】経由となります。

従来シャトルにお客さまを預ける場合は、顧客台帳をシャトルにフアクスし、ルートや初回レンタル日を確認し、シャトルのコンピューターにお客さま登録をしました。

これが情報連携システムになると、事前の確認は同じですが、顧客データを情報連携システムで**加盟店・支店から送信 ↓ シャトルで受信**となります。お客さま情報を手入力することが無くなります。

またOMMの受け渡し等も変わってきますので、シャトル委託をご検討のお店はエリアマネジャーまでお問合せ下さい。

今期中に大阪・神戸のコンピューターも店舗業務システムに入替え予定です。詳しいご案内は後日ダスキン本部より行います。

2015年3月度	1日平均			訪問単価	レンタル率	5月18日 (月) 神戸・京都勉強会 5月20日 (水) 大阪勉強会 6月15日 (月) 神戸・京都勉強会 6月17日 (水) 大阪勉強会
	売上	軒数	走行距離			
シャトル大阪中央	165,161円	55軒	63.4km	3,022円	99.5%	
シャトル神戸中央	120,087円	40軒	98.1km	2,996円	98.0%	

第54期 シャトル北大阪 政策勉強会 (誠心館)

2015年4月11日、ダスキン誠心館にてシャトル北大阪の政策勉強会を行いました。

大阪・神戸・京都のメンバーに(株)ダスキン クリーン・ケア事業本部 企画部 B S 拠点開発室 生月さんにもご参加いただいで総勢71名となりました。これは飛翔の間のキャパの限界を超えています汗！

「約束を守る」

今期のシャトルキーワードは「約束を守る」です。なんともシンプルな言葉ですが、スタッフが集まらず悪戦苦闘した前期から、今期はようやく揃ったニューフェイスを確実に育てていこうと、新人さんにも良く分かり、また仕事のベースになる言葉を掲げました。

お客さまに届ける日、時間、商品、サービス、身だしなみ、言葉遣い、安全運転と、シャトルは必ず約束を守ります。

毎月の勉強会は拠点ごとに行うので、全スタッフが揃うのは春秋の政策勉強会と忘年会、あと開催されれば慰安旅行の機会だけです。同じ仕事をする仲間が他の地域にいるということは、心強く、励みになりますし、同時に良い競争心を生み、組織を活性化します。これも京都出店の理由のひとつです。

さてシャトルの政策勉強会では社長や店長からの政策発表以外に、全員が一度は前に出て話す委員会活動のプレゼン時間があります。シャトルにはイベント委員会、おそうじ委員会、時短委員会など8委員会あり、スタッフはどこかの委員会に所属して活動



↓ ↓ ↓
 します。例えばイベント系の委員会ではオフィスを真似て自前でお菓子類を調達して社内販売、その収益を文具で還元するなど、なか他のスタッフの役に立つ、快適に仕事ができる、社内活性化に繋がる活動を行い、政策勉強会でプレゼンとなります。詳しくはブログをご覧ください。

【人の成長＝会社の成長】が越野グループの企業理念ですから、本業を通じての成長はもちろん、委員会活動から切り口の違った成長ができればと考えています。

さてシャトルでも働きさんの雇用が大きなテーマとなつています。昨今のレンタル環境(お客さまのシビアな曜日時間指定、マットの大型化、テープ固定、専門性の高い商品のメンテナンス、駐車交通事情など)は以前に比べて格段に売上を上げにくくなつています。そしてそれは長時間労働にもつながります。

昨年からは大阪では積み込み作業を早くするため前にマットをたたんでおくスタッフを導入しましたが、今期も更なる変化に対応して皆様にお役立ちできるシャトルであり続けます。

<http://ameblo.jp/shuttle-ko/>



ダスキンシャトル 北大阪のブログ

シャトルのタイムリーな情報をお届けします



是非アクセスしてください！

シャトル京都中央店



電話：075-382-2626

FAX：075-382-2628

e-mail：

shuttle_kyoto@koshino.co.jp